

環境への取り組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

環境経営 基本方針

『グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上』 グループの環境力向上

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

「国際フロンティア産業メッセ2016」に出展

2016年9月8日(木)、9日(金)の2日間、『次世代を創生する技術の結集』をテーマとして、「国際フロンティア産業メッセ2016」が神戸国際展示場で開催されました。当社グループは、水素関連技術を中心に、その他自動車軽量化技術や防災・環境関連技術などを紹介しました。



展示ブースの様子



防災関連の展示(フレア護岸、砂防えん堤)

ラグビーを通じての活動

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティーラーズは、ラグビーを通じて地域・社会と積極的に交流を図り、多くの方々にラグビーの魅力伝える活動を行なっています。一人でも多くの方に、ラグビーの魅力伝えるべく、神戸市の小学校や幼稚園にタグラグビー(タックルやスクラムなどの接触プレーがない、安全性の高い誰でも楽しめるラグビー)の出張授業、地域のお祭りやトークショー等のイベントに選手が参加しています。これらの活動により、2019年にラグビーワールドカップが開催される予定の神戸市をはじめ、地域におけるラグビーの普及に引き続き取り組んでいきます。



ラグビースクールでの指導の様子



小学校でのタグラグビー教室の様子

詳しくは [ホームページ](#)をご覧ください。

KOBELCO

検索

<http://www.kobelco.co.jp>